

陽明高等学校

【 沖縄県 】



# 陽明高校介護福祉科

③

などを体験した甲斐愛華さんも「利用者として、笑ってくれるとうれしい。やって良かったという気持ちになる」と感想を語った。

同病院には陽明高校出身の職員も勤務。キビキビと仕事をこなすその姿は、後輩たちのおこがれだ。実習中の津嘉山さんは「先輩は技術もすごく尊敬します」。現在、同病院で働く富原宏江さん(三三)は「実習生はみんな頑張っていますよ」と後輩にエールを送った。

介護福祉科は二〇〇〇年、介護保険制度導入などに伴う社会的ニーズの高まりに対応して設置された。主な専門科目は看護基礎医学や社会福祉基礎、社会福祉援助技術など。選択科目で手話や点字の授業もある。訪問介護員二級の認定が受けられるほか、介護福祉士国家試験の受験資格が取得できる。

医療機関や大学などから外部講師も迎え、専門科目に対応。校内に実習用のベッドや実習モデル人形、リハビリ実

# 看護や介助技術 現場で学ぶ



介護福祉の現場を学ぶ校外実習。職員の手導でシーツの交換に取り組む生徒＝浦添市・嶺井リハビリ病院

## 先輩後輩の仲の良さも特長

習用平行棒、入浴実習用の昇降式浴槽などの施設・設備を整備している。また、介護や福祉の仕事は人が相手。実習で校外に出る機会も多いため、事前に接遇・マナー講習も実施。あいさつや言葉遣い、電話応対なども学ぶ。

「ほとんどが目的意識を持った生徒たち」と同科の比嘉加代学科長。卒業後は、福祉施設や病院などに就職して介護福祉士やヘルパー、看護助手などの道へ。あるいは福祉やリハビリ系の大学・短大、専門学校へ進学する生徒も多い。

先輩後輩の仲の良さ、地域の積極的な支援も介護福祉科の特長だ。

福祉の現場について卒業生から話を聞いたり、国家試験の前には学校で勉強に打ち込む在校生を激励しようと、卒業生が差し入れに訪れることも。「アルミ缶のプルタブを集めて、車いすを贈ろう」と今春卒業した生徒たちが二年余りかけて取り組んだ活動は、後輩たちに受け継がれた。

校外での実習も、地域の福祉施設の積極的な協力があるからこそ。「地域あつての学校だと思っています」と比嘉学科長は話した。

(奥村敦子)

**★七**

教育目標 社会福祉に関する専門知識と技術を身に付け、現代社会における社会福祉の意義と役割を学習する。社会福祉の向上に寄与する創造的な能力と実践的な態度を学習する。定員は40人。

# 六郷高等学校

【秋田県】

# 地域のきずな深めよう

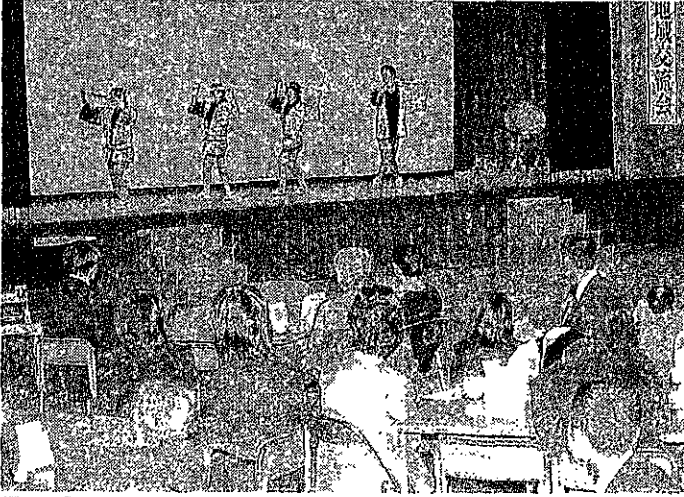
美郷町にある六郷高校(利部共平校長)は二十六日、同校大体育館でみんなできさえ合い、ともに生きよう」をテーマに、同町の一人暮らしや高齢者施設に入っているお年寄りを招いて「地域交流会」を開き、踊りや歌などで交流を深めた。

## 六郷高

地域の高齢者との交流を通し、心豊かな感性と思いやりのある行動力を育てようと、同校福祉科を中心に、町社会福祉協議会の協力を得て昨年から開いている。

## お年寄りら招き交流会 歌や踊りでもてなす

この日は、町内の一人暮らしの高齢者や高齢者施設に入っている人、障害者福祉施設のデイサービス利用者ら約百人を招待。利部校長が「福祉科が設置されて三年目になる。順調に歩んでこられたのは、地域の支えがあったからだ。地域への感謝を表し、きずなを深める機会になれば幸いです」とあいさつ。生徒会長の小田長和紀君(三年)が



「ことは昨年以上に参加者が多く、緊張しているに合わせた踊りの披露、楽しんでもらえるか」一年生の合唱、カラオケ心配な面もあるが、心をやゲーム交流などが行われ、

「込めて頑張りたい」と歓迎した。

続いて同校吹奏楽部の演奏、福祉科二、三年生

れた。着物にたすき掛けの女子生徒、はんでん姿の男子生徒が秋田甚句や秋田音頭などを一生懸命踊る姿には、お年寄りがちから盛んな拍手を送られていた。

### 「新そばまつり」 手打ち味わって

横手市で29、30日  
横手市山内の「道の駅さんない」(下夕村基作)は二十九、三十の両日、山内産の新ソバを使った手打ちそばを提供する「新そばまつり」を同駅で開催する。午前十時半から午後三時まで。新ソバは地元生産農家でつくる「山内そば生産者協議会」(藤井義一郎会長)が今月中旬に収穫。手打ちそばと名物のいものこ汁、漬物がセットになった料理を千円(当日千円)で提供する

。チケットは販売中。二十九日は合併新市の「横手市」を記念して「道の駅産直グループ」(中村カツ会長)が午前時から祝いもちつきを美施。つきたてをきな粉もちにして来場者に振る舞う。

## 大輪色鮮やかに

### 湯沢市で菊花展



黄色が鮮やかな菊の花—湯沢市の市中央公園広場

湯沢菊の会(榎本善次会長)と湯沢市観光協会主催の第四十八回菊花展が、同市の市中央公園広場と市生涯学習センターの三会場で開催されている。三十一日まで。

同会のメンバーや愛好家、小学校児童らの作品約二百六十点を展示。高さ約一丈に育った菊が黄色や白など鮮やかな大輪をつけ、訪れた人たちの目を惹きつけている。

「ことは九月初めで暑い日が続き管理に苦労したが、色付きや花の大きさは平年よりも出来が良い作品が多い」と榎本会長。入場無料。各賞は次の通り。  
▽湯沢菊の会会長賞

## 初代市議

去りにされ、代表として、三十人の初

うが、どちらも「広域」を意識した

だが、市民の中には「名前の連呼だけで、何を訴えたいのかわからない」「選挙カーのスピーカーの音を

## 点描

刈り中にタンクの配管を切断してしまったケース

油の流出被害方

汚濁

# 青森中央高等学校

【 青森県 】

—— 岩淵 美希さん  
(青中央3)

「おばあちゃん、きれいだね」  
青森市内の介護老人保健施設で、入所女性と楽しそうに話す岩淵美希さん(青森中央3年)は「介護福祉士」になるのが夢だ。

人の役に立つ仕事に就きたいと小さいころから思っていた。また、祖母と一緒に暮らしていることもあり、お年寄りと接するのも大好き。その2つを満たし、必然のように導かれたのが「介護福祉士」だ。

健康福祉系列を含む総合学科を新設するという話を聞き、進学先は青森中央高校に決め、夢への扉を開いた。

2年まではトイレの世話、着脱介助など、友達と2人1組になり、校内で介護技術を学び、3年からいよいよ実習へ。5月から10月までの毎週火曜日、市内の介護老人保健施設でお年寄りの世話をした。「やることがいっぱいであつという間」というように、朝礼から始まり、おむつ交換、体操、レクリエーション…、

介護福祉士



目まぐるしく一日が過ぎる。

「お年寄りは一人一人体重や体格も違うので、思っていたようにはいかないですね」と現実の難しさにも直面。「来年には13科目の筆記試験もあるからそれも頑張らないと」

夢への達成率は50%ぐらいだという。

「でも、お年寄りの笑顔が元気の源」。慣れないながらも一生懸命仕事をこなす岩淵さんの笑顔は逆にお年寄りの心を癒している。



「夢の扉」は明確な夢を持ち、実現に向け頑張る姿を紹介します。

吉田高等学校

【 静岡県 】

た「福祉機器アイデアコン

福祉機器アイデアコン

# 吉田高・杉本さん 介護服で最優秀



実践からの工夫が評価された介護服を説明する杉本日菜花さん＝愛知県半田市の日本福祉大学半田キャンパスで

ンテスト」の表彰式が先月30日、愛知県半田市の同大半田キャンパスであった。障害のある人のためのファッションをテーマにした特定課題の部で、吉田町の県立吉田高校3年杉本日菜花さんが最優秀賞に選ばれた。

募集は、高齢者から幼児までが快適に暮らせるための工夫を求めた「自由課題」と、「特定課題」の2部門。自由には350点、特定には80点の応募があり、それぞれ最優秀賞1点と優秀賞2点を選んだ。

特定課題の最優秀賞になった杉本さんの作品は「使いやすい機能とデザインの介護服」。福祉科に在籍し、介護実習に取り組んでいる中で、介護がしやすく、着る人の個性も出せるおしゃれな服を考えたと、腰の周りのよじれを解消し、床ずれの防止にも役立つよう、腰回りに滑りやすいサテンの生地を使うように工夫した。

審査員からは「介護現場にかかわっていないと考えつかない工夫が盛り込まれており、すばらしい」と評価された。卒業を控えている杉本さんは「福祉関係のユニバーサルデザインが学べる大学へ進学したい」と話した。

朝日新聞  
2005/11/1